



令和6年9月3日
国土交通省四国地方整備局
渡川ダム統合管理事務所

中筋川ダム・横瀬川ダムが効果を発揮

～令和6年台風第10号におけるダムの治水効果について～

- 令和6年8月27日からの降雨は、中筋川ダム上流域では累計351.8mm^{※1}、横瀬川ダム上流域では累計395mm^{※2}を観測しました。
※1:8月27日15時～30日24時（時間最大約36.5mm・28日22時）
※2:8月27日19時～30日24時（時間最大約32mm・28日19時）
- この降雨により、中筋川の磯ノ川地点で、ピーク水位 6.75m を記録し、氾濫注意水位（5.50m）を超える出水となりました。
- 中筋川ダムでは台風第10号に備え事前放流により約93万m³の容量を確保し、横瀬川ダムで事前に確保されていた貯水容量と2ダムの洪水貯留容量と合わせて約1360万m³の容量を確保しました。
- 中筋川ダムでは最大流入量の約83%、横瀬川ダムでは最大流入量の約84%をそれぞれのダムで貯留しました。
- 2ダムの洪水調節により、磯ノ川地点で約0.6m水位を低減させたと推定されます。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

※本発表は、四国圏広域地方計画広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】に該当します。

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 四国地方整備局 渡川ダム統合管理事務所

電話（0880）66-2501

所長

あべ かつよし
阿部 勝義

◎管理課長

ひがし やすし
東 泰志

◎主な問い合わせ先

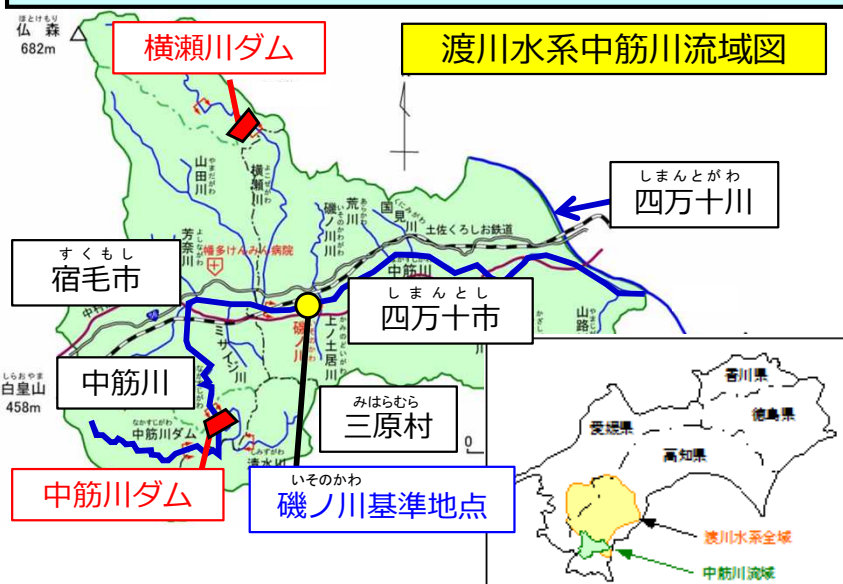
中筋川ダムと横瀬川ダムの効果(高知県・渡川水系中筋川)

速報値

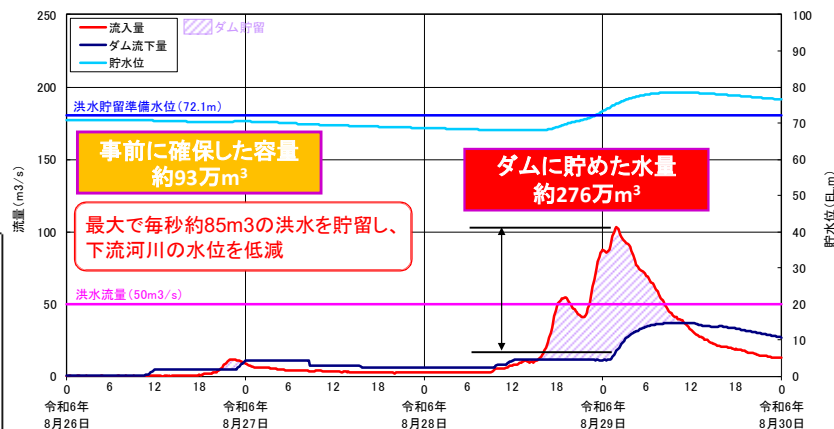
令和6年8月

- 令和6年8月27日からの降雨は、中筋川ダム上流域で累計351.8mm※¹、横瀬川ダム上流域で累計395mm※²を観測。
- 中筋川ダムでは台風第10号に備え事前放流により約93万m³の容量を確保し、横瀬川ダムで事前に確保されていた貯水容量と2ダムの洪水貯留容量と合わせて約1360万m³の容量を確保。
- 中筋川ダムでは最大流入量の約83%、横瀬川ダムでは最大流入量の約84%をダムで貯留。
- 2ダムの洪水調節により、磯ノ川地点で約0.6m水位を低減させたと推定。

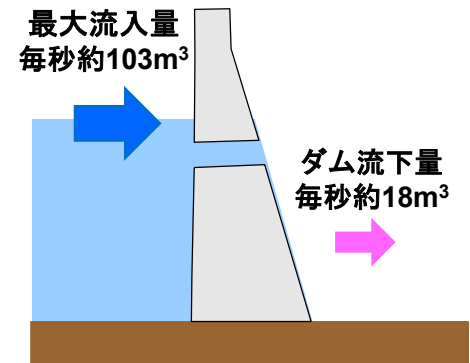
※1:8月27日15時～30日24時(時間最大約36.5mm・28日22時)、※2:8月27日19時～30日24時(時間最大約32mm・28日19時)



中筋川ダムの洪水貯留状況

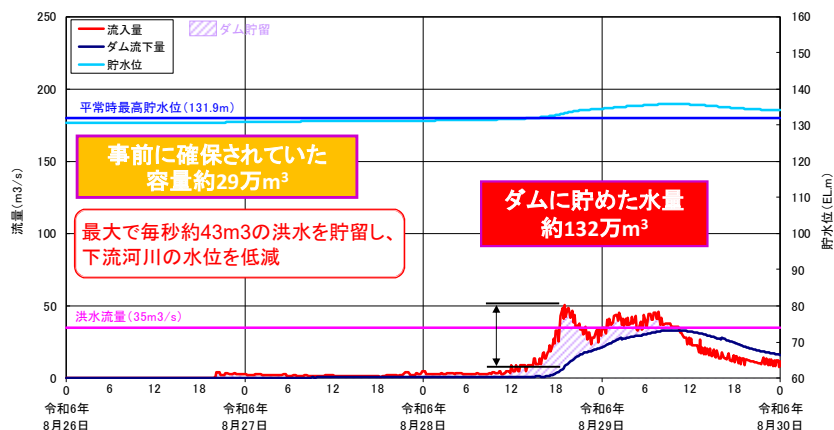


最大流入時の中筋川ダム

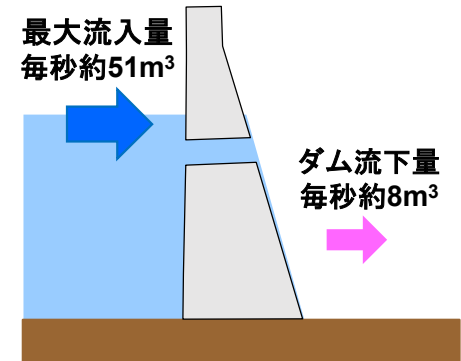


ダムに流れ込んだ水の量の
約83%を貯留

横瀬川ダムの洪水貯留状況

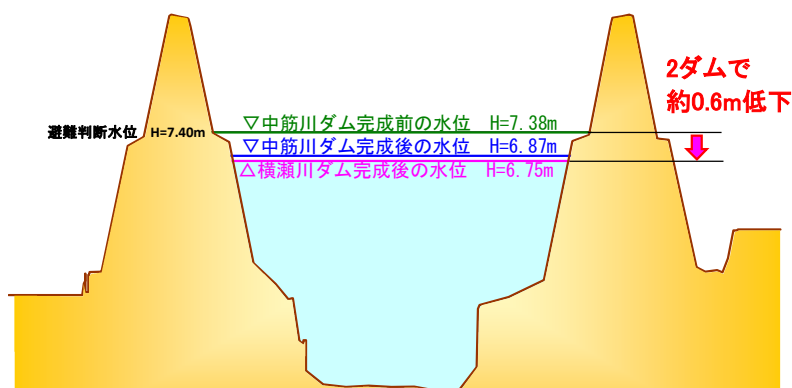


最大流入時の横瀬川ダム



ダムに流れ込んだ水の量の
約84%を貯留

中筋川ダム・横瀬川ダム2ダムにより 磯ノ川地点の水位を約0.6m低下



※磯ノ川地点の水位と流量の関係と、各ダムの洪水調節量などから推定しています。

※上記(H:量水標)の値に0.577mを加えた値が標高(m)となります。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

ダムの貯留状況

中筋川ダム



貯留前 EL=67.98m (8月28日)



今回洪水による貯留量
約276万m³

貯留後 最高貯水位EL=78.52m (8月29日10時10分)

横瀬川ダム



貯留前 EL=130.67m (8月26日)



今回洪水による貯留量
約132万m³

貯留後 最高貯水位EL=135.78m (8月29日9時20分)